

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	学校教育相談				
担当者氏名	佐谷 力				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	2年・秋期

《授業の概要》

学校教育相談の実際について概説する。カウンセリングの基礎を学び、生徒や保護者とのかかわりについてのロールプレイなどの実習を行う。いじめ・不登校等の不適応事象のみでなく、日常的な学校教育場面での学習面、心理・社会面、進路面、健康面にかかわる具体例を取り上げ、適切な支援のあり方について、議論しながら考察していく。

《テキスト》

佐谷力「子供とのかかわりに生かすカウンセリングテキスト」ほんの森出版

《参考図書》

講座の中で適宜指示する。

《授業の到達目標》

本講義では、教師相互はもとより、保護者やスクールカウンセラーをはじめとする専門家・地域の人々等と連携して、生徒の成長を指導・支援していくために、教師に求められるカウンセリングを生かした学校教育相談活動を理解実践できる姿勢と力量を養うことを目標とする。

《授業時間外学習》

- ・ 次回のテーマについて調べてくる。
- ・ 学習したテーマについての課題や支援のための手段や手法について考察し、まとめる。
- ・ 出された課題について仕上げて提出する。

《成績評価の方法》

平常点（実習、受講態度など） 20%
 提出物（プリント、レポート） 30%
 定期試験 50%

《備考》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	はじめに	学校教育相談とは
2	解説	学校教育相談の領域
3	解説と討議	学校教育相談と生活指導
4	解説	スクールカウンセラーとの連携
5	解説	カウンセリングの基礎理論
6	解説と実習	カウンセリングの技術
7	解説と実習	カウンセリング技法の実習
8	実習	ロールプレイ実習「生徒との信頼関係づくり」
9	実習	ロールプレイ実習「保護者との信頼関係づくり」
10	解説と討議	生徒とのかかわりの実際「いじめ」
11	解説と討議	生徒とのかかわりの実際「不登校」
12	解説と討議	生徒とのかかわりの実際「神経症・精神疾患」
13	実習	保護者とのかかわりの実際「相談事例」
14	実習	保護者とのかかわりの実際「苦情事例」
15	まとめ	学校内外での連携と協働